

山形フレンドシップ交流会沿革

<スポーツグループとの交流の起こり>

日本スポーツ少年団と西ドイツスポーツユースは1967年から青少年スポーツ指導者交流、1975年から日独スポーツ少年団同時交流を行っている。指導者交流においてはヨーロッパ諸国も訪問しており、隣接国のオーストリアのスポーツ団体とも友好関係にあった。

渋谷区教育委員会の山岸氏は日本スポーツ少年団の役員を長年務められており、国内やヨーロッパ諸国の青少年スポーツ関係者と友好を深められていた。

1983年、ザルツブルグ州スポーツ連盟のペーター・ピルスル氏は来日したおり、渋谷区の方山岸氏とスポーツ活動を通じた青少年交流について話し合われた。1985年、渋谷区は国際青年年に当たり、国際青年推進協議会を発足させ、オーストリア青年14名(ザルツブルグ7名、ウィーン7名)の受入れ交流を行った。その後、ザルツブルグと渋谷区は継続的な青少年交流として、2年毎の相互交流を行うことになった。1986年11月、山岸氏から山形のスポーツ少年団指導者の海老名にオーストリア・ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年受入交流の誘いがあった。その後、山形市内のスポーツ仲間が集まり交流の準備に取り掛かった。

1987年度 「会員8家族」

- 1987年6月 峯田、上村、三沢、海老名、荒木、庄司(武)、金村、菅野の8家族による受入会議を開催する
- 8月3日 第1回ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年受入交流(8名受入)
- ~ 12日 「7.28~8.3渋谷区教育委員会が同グループ受入」
- 11月 同グループを迎えての記録集「あしあと」発行
- 1988年 1月 海老名、オーストリア旅行中ザルツブルグに立ち寄りザルツブルグ州スポーツ連盟事務局長ペーター・ピルスル氏他の関係者と会い、山形からの訪問について話し合う

1988年度 「会員11家族」

- 1988年5月 ドイツの交流パートナーについて、ドイツスポーツユースの高橋範子氏へ紹介を依頼する(ニュルンベルグ市のギュンター・シュタルク氏が紹介される)
- 10月 東京に滞在中のニュルンベルグ市スポーツユースのギュンター・シュタルク氏を海老名が訪ね、相互の青少年の交流について話し合う
- 12月28日 第1回訪問交流団の研修会開催
「講師、クリスチャン・コルフマツハ(ボン大学学生蔵市滞在)、菅野淳氏(筑波大学大学院生)」
- 1989年3月17日 第1回訪問交流団の研修会開催 「講師、島田喜明氏(蔵王スキー学校)」
- 3月25日 峯田団長、海老名総務、青少年(男女各4名)ザルツブルグ州スポーツ連盟、ニュルンベルグ市スポーツユースの受入れにより、ザルツブルグ州、ニュルンベルグ市を訪問(山形フレンドシップ交流会と命名)
- ~ 4月5日

1989年度 「会員14家族」

- 6月17日 山形フレンドシップ交流会会則を制定し、峯田武興会長他役員を選出
- 7月 第1回訪問の記録「グリユスゴット」発行

- 8月4日 第2回ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年受入交流(9名受入)
 ~ 12日 「8.12~21渋谷区教育委員会受入」
 12月 同グループの受入交流の記録「グリュスゴット」編集
- 1990年度 「会員20家族」
- 1990年8月15日 第1回ニュルンベルグ市スポーツユース受入交流(13名受入)
 ~ 22日 「22日~26日の東京滞在中、蕨・リンデン協会、渋谷区教育委員会の支援を受ける」
- 11月1日~4日 早稲田大学留学生のホームステイ支援(4名受入)
- 11月21日 国際交流トーク開催 「講師、原田憲一氏(山形大学理学部助教授)」
- 12月26日 第2回訪問交流団の研修会開催 「アドバイザー - 海老名真綾(高校2年 第1回訪問団員)」
- 12月 ニュルンベルグ市受入交流の記録「グリュスゴット」編集
- 1991年3月21日 第2回訪問交流団の研修会開催 「講師、土岐良次氏(フライツァイトシーシュレ校長) ナカタ・ディーナ氏(アメリカ、早稲田大学国際学部学生)」
- 3月24日 片桐団長、海老名総務、6名の青少年(男子2名、女子4名)
- ~ 4月6日 第2回ザルツブルグ・ニュルンベルグ訪問交流に参加
- 1991年度 「会員22家族」
- 7月 第2回訪問の記録「グリュスゴット」発行
- 8月5日 山形市国際交流協会へ加盟(当協会、同日設立)
- 8月5日 第3回ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年受入交流(7名受入)
 ~ 13日 「8.13~22渋谷区教育委員会受入」
- 11月17日 国際交流トーク開催 「講師、今村哲也氏(山形大学人文学部助教授)」
- 12月 同青少年受入交流の記録「グリュスゴット」編集
- 1992年度 「会員25家族」
- 1992年8月6日 第2回ニュルンベルグ市スポーツユース受入交流(10名受入)
 ~ 15日 「15日~18日の東京滞在中、渋谷区教育委員会の支援を受ける」
- 8月8日 山形フレンドシップ交流会設立5周年記念式典として「音楽と講演の夕べ、記念交歓パーティー」開催 (講演 ギュンター シュタルク氏)
 (会場、プラザ チャーズ 81名参加)
- 12月23日 国際交流トーク兼第3回訪問交流団の研修会開催
 「講師、ユタ・プリーベ氏(マールブルク大学生、山形大学聴講生)」
- 1993年3月20日 第3回訪問交流団の研修会開催 「講師、島田喜明氏(蔵王スキー学校)」
- 3月23日 峯田団長始め10名の青少年(男子4名、女子6名)
- ~ 4月6日 第3回ザルツブルグ・ニュルンベルグ訪問交流に参加
- 1993年度 「会員26家族」
- 1993年6月6日 国際交流トーク 「講師、シヨン・ロー氏(外国語指導助手)」
- 8月4日 第4回ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年受入交流(8名受入)
 ~ 15日 5周年記念誌発行 (フレンドシップ財団助成事業)

- 1994年度 「会員28家族」
- 1994年6月4日 国際交流トーク「講師、ポトレック警部(ポルダ-市警)、モア・ダビデ氏(宣教師)」
- 8月4日 第3回ニュルンベルグ市スポーツユース受入交流(11名受入)
- ~ 13日 (SSFスポーツエイド助成事業) 稲穂スポーツ少年団(11~13日受入)
- 9月 企画責任者(鈴木加代)を中心に第4回ザルツブルグ・ニュルンベルグ訪問交流の企画に着手
- 1995年2月25日 第4回訪問交流説明会開催
- 1995年度 「会員30家族」
- 1995年4月 第4回訪問交流団の青少年リーダー石澤かおり他、団員の役割決定
- 6月11日 国際交流トーク開催
「講師、セラ・ジェーン・ミード氏(山形市国際交流員)」
- 7月28日 武田団長、鈴木総務始め10名の青少年(男子3名、女子7名)
- ~ 8月14日 第4回ザルツブルグ・ニュルンベルグ訪問交流に参加
ママさんグループ(9名)同行
- 8月16日 第5回ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年受入交流(8名受入)、プロジェクトチーム(三澤チーフ)を編成し対応
- ~ 21日 「第5回受入交流、(財)山形県国際交流協会助成事業」
- 9月2日 受入・訪問交流報告会(ゲスト、セルナー啓子氏 来県)
- 12月 第4回訪問交流報告書発行
- 1996年度 「会員32家族」
- 1996年6月30日 国際交流トーク「講師、ジェニファー・スワットン氏(山形市英語指導助手)」
- 9月 1997年の設立10周年記念に対応するため、プロジェクト委員会組織づくりに着手
- 11月3日 臨時総会・いも煮会開催「プロジェクト委員会発足(三澤プロジェクト委員長)」
- 1997年1月25日 新年会兼懇談会開催「ゲスト、ヴァイス夫妻(ドイツ・リゲン在住)」
- 1997年度 「会員32家族」
- 1997年4月23日 ギリシャ料理の集い開催(元木公民館と共催)「ゲスト、ヘラー夫妻(ニュルンベルグ在住)」
- 6月22日 国際交流トーク開催
「講師、ミッシェル・ハンセン・ロビンソン(山形国際ドキュメンタリー映画祭実行委員会専門員)」
- 8月2日 10周年記念事業として、ニュルンベルグ市スポーツユース(10名、第4回受入)、ザルツブルグスポーツ連盟青少年(8名、第6回受入)、
- ~ 11日 ザルツブルグ市日本語学校グループ(8名)受入交流
(10周年記念事業プロジェクトとして3部会を設置。三澤プロジェクト委員長、鈴木加代交流部長、武田和子式典部長、海老名記録部長を中心に部会を運営し事業を展開)
- 8月9日 山形フレンドシップ交流会設立10周年記念を祝う会開催
(会場、元木公民館 116名参加)
- 9月1日 第2代目会長、上村正志就任 顧問に前会長の峯田武興就任
- 9月7日 10周年記念事業反省会開催
- 10月1日 10周年記念誌発行

- 1998年度 「会員32家族」
- 1998年7月24日 鈴木善夫団長、武田正男総務始め9名の青少年(男子2名、女子7名)
- ~ 8月15日 第5回ザルツブルグ・ニュルンベルグ訪問交流に参加
- 8月22日 インド料理の集い開催(山形市中央公民館)
- 10月23日 第5回訪問報告会兼臨時総会開催
- 「山岸さんより、群馬県新町スポーツクラブがニュルンベルグスポーツユグメントの受入パートナーに紹介される。
- 1999年2月26日 蔵王スキー場でスキーの集い開催(宿泊:西蔵王国民宿舎)
- 27日
- 1999年度 「会員32家族」
- 1999年7月30日 第5回ニュルンベルグスポーツユグメント受入12名
- ~ 8月7日 (代表指導者 ギュンター シタルク 連続5回来県)
- 「8月7日~12日群馬県新町スポーツクラブニュルンベルグ受入」
- 8月4日 第7回ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年受入交流(9名受入)
- ~ 11日 (団長 ゲルハルト アヒンガ - 1989年来県)
- 「国際交流SIS(渋谷区)が、渋谷区役所になり東京での交流パートナーとなる」
- 2000年度 「会員34家族」
- 2000年4月29日 ビダウアー親子(母、娘)を迎え、千歳館で歓迎パーティー開催
- 6月17日 第6回訪問団事前研修会開催講師 海老名真綾(フイナンド・ラップランド 大学在学)
- 7月30日 海老名清二団長、高橋勉総務始め8名の青少年(男子2名、女子6名)
- ~ 8月15日 第6回ザルツブルグ・ニュルンベルグ訪問交流に参加
- 「群馬県新町スポーツクラブ同交流に参加」
- 12月1日 第6回訪問交流報告書発行 賛助会員募集
- 2001年度 「会員34家族」「賛助会員9家族」
- 2001年8月3日 第6回ニュルンベルグスポーツユグメント受入13名
- ~ 10日 (団長:ドリス ヴァルシュワッファー-連続3回来県)
- [7月28日~8月3日まで群馬県新町スポーツクラブ受入]
- 8日 金井公民館の市民との交流に参画(スポーツ交流、長巻きすし作り)
- 9月30日 同上交流反省会並びにいも煮会開催(唐松観音河川敷)
- 2002年度 「会員30家族」「賛助会員10家族」
- 2002年8月1日 ザルツブルグ市日本語学校グループ(8名)受入交流
- 川崎市総務局、前半の同グループ受入交流を担当(川崎市とザルツブルグ市、1996年より姉妹都市)(団長:セルナー 啓子。パートナーの州スポーツ連盟は第8回訪問をキャンセル)
- ~ 7日 「(財)山形県国際交流協会助成事業」
- 5日 山形西高校訪問(そら曲部・バレーボール部員との交流)
- 6日 設立15周年記念パーティー開催(於、Eur)
- 9月22日 同上交流反省会並びにいも煮会開催(唐松観音河川敷)
- 2003年1月19日 新年会開催(於、Eur)

2003年度 「会員29家族」「賛助会員8家族」

- 2003年7月 5日 総会ならびに第7回訪問団激励会開催(於、Eur)
7月30日 海老名清二団長、村田朋子総務始め7名の青少年(女子7名)
~ 8月15日 第7回ザルツブルグ・ニュルンベルグ訪問交流に参加
[群馬県新町スポーツクラブ、ニュルンベルグ訪問交流に参加]
9月21日 同上交流報告会並びにいも煮会開催(唐松観音河川敷)
12月21日 第7回訪問記録集発刊祝い並びに忘年会開催(於、ベタニア)

2004年度 「会員27家族」「賛助会員8家族」

- 2004年6月12日 総会ならびに受入交流準備会開催(於、東部公民館)
8月1日 第8回ザルツブルグ州スポーツ連盟青少年グループ6名受入
~ 9日 (団長: マニュエラ・ハスラウアー、総務: アンナ・ハスラウアー)
3日 第7回ニュルンベルグスポーツユース受入13名
~ 9日 (団長: ドリス・ヴァルシュOFFER-連続4回来県、総務: ミヒエル・フォス)
[7月28日~8月3日まで群馬県新町スポーツクラブ、ニュルンベルグ受入]
4日 山形市民との国際交流の集い(ドイツ・オーストリア料理、空手) 於、元木公民館
「(財)山形県国際交流協会助成事業」